



感染症等対策分野における 実習システムの構築



• ホームページの紹介



獣医学生のための実習・インターンシッププログラム

—口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業（文部科学省）—

HOME

本事業の目的

実施体制

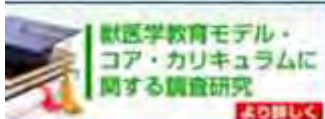
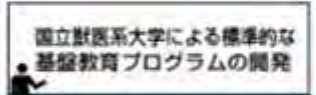
実施プログラム一覧

教員の皆様へ

学生の皆様へ
-プログラムへの参加方法-

実習プログラム内容

講義プログラム内容



概要

東京大学および岐阜大学では、他の協力大学および高度外部専門機関と連携し、我が国の家畜防疫対策を担う獣医師、動物および人の感染症、食中毒への対策など公衆衛生分野を担う獣医師、および産業動物臨床を担う獣医師を養成するための教育の充実を図るため、各大学の基盤教育を補助する教材・プログラムと高度で実践的な実習・インターンシッププログラムを提供します。 [本プログラムのイメージ図\(PDF\)](#)

[参加学生の声](#)

WHAT'S NEW!

- 2012.4.19
 - ・「[実習・インターンシッププログラム一覧](#)」を更新しました。
 - ・「[実習・インターンシッププログラム内容・日程](#)」を更新しました。
- 2012.4.5
 - ・「[学生の皆様へ](#)」に産業動物関係実習プログラム用を掲載しました。
 - ・「[参加学生の声](#)」を更新しました。
- 2012.4.3
 - ・「[実習・インターンシッププログラム一覧](#)」を更新しました。
 - ・「[実習・インターンシッププログラム内容・日程](#)」を更新しました。
- 2012.3.23
 - ・「[講義プログラム内容](#)」を更新しました。
 - ・「[実習・インターンシッププログラム一覧](#)」を更新しました。
 - ・「[実習・インターンシッププログラム内容・日程](#)」を更新しました。
- 2012.3.19
 - ・[学生の皆様へ](#)に「[獣医学生のための実習・インターンシッププログラムの手引き](#)」を掲載しました。
- 2012.3.14
 - ・「[講義プログラム内容](#)」に「[動物福祉概説](#)」および「[動物検疫のしくみ](#)」を追加しました。
- 2012.3.8
 - ・[家畜衛生行政と家畜伝染病予防法のビデオ講義](#)を追加しました。
- 2012.2.18
 - ・[動物感染症侵入防止実習プログラム参加者への連絡](#)を掲載しました。
- 2012.1.30
 - ・[事業補助員の紹介](#)を掲載しました。
- 2012.1.11
 - ・[チーフコーディネーターの紹介](#)を掲載しました。
- 2012.1.4
 - ・[動物感染症侵入防止実習プログラム\(3/12~16\)](#)の参加募集について掲載しました。
- 2011.11.21
 - ・[国際獣疫事務局\(OIE\)実習プログラム受講者へのお知らせ](#)
- 2011.10.14
 - ・[国際獣疫事務局\(OIE\)実習プログラムの参加者募集](#)について掲載しました



HOME

本事業の目的

実施体制

実施プログラム一覧

教員の皆様へ

学生の皆様へ

- プログラムへの参加方法 -

実習プログラム内容

講義プログラム内容

全国大学獣医学部
代表者協議会



● 実施体制

本事業は下記の体制で実施します

感染症・公衆衛生分野の実習・インターンシップ

基幹校: 東京大学(代表者: 西原真杉、チーフコーディネーター: 明石博臣)

協力校: 岩手大学、東京農工大学、宮崎大学

現在準備中です。しばらくお待ちください。

明石博臣
(東京大学・教授)

産業動物診断分野の実習・インターンシップ

高度外部専門機関

- ・ [国際獣疫事務局\(OIE\)アジア太平洋地域事務所](#)
- ・ [動物検疫所](#)
- ・ [動物衛生研究所](#)
- ・ [国立感染症研究所](#)
- ・ [動物医薬品検査所](#)
- ・ [日本中央競馬会\(JRA\)](#)
- ・ [東京農工大学農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センター](#)
- ・ [農林水産消費安全技術センター\(予定\)](#)

HOME

本事業の目的

実施体制

実施プログラム一覧

教員の皆様へ

学生の皆様へ
・プログラムへの参加方法・

実習プログラム内容

講義プログラム内容



国立獣医系大学による標準的な
基礎教育プログラムの開発



獣医学教育モデル・
コア・カリキュラムに
関する調査研究



獣医学
共通教科書の
刊行事業計画

ホームページに関する
お問い合わせ先
yumi(a)yamaguchi-u.ac.jp
(a)は@です

Last Update 12/04/19
Since 2001/02/01

● 実習・インターンシッププログラム一覧

現時点で予定されているプログラム一覧です

	実習・インターンシッププログラム名	日程	予定実施機関	募集人数	応募締切
1	動物感染症予防・防疫実習プログラム	H24.8.20-8.31	動物衛生研究所	5名	H24.6.30
2	馬感染症・臨床実習プログラム	24.8.27-9.8	日本中央競馬会	10名	H24.6.30
3	動物医薬品実習プログラム	H24.8.27-9.7	動物医薬品検査所	5名	H24.6.30
4	国際感染症防疫実習プログラム	H24.9.18-9.21	東京農工大学農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センター	5名	H24.7.30
5	国際獣疫事務局(OIE)実習プログラム	H24.10.30-11.2	国際獣疫事務局(OIE)アジア太平洋地域事務所	3名	H24.9.30
6	人獣共通感染症・食品由来感染症実習プログラム	H24.8.27-9.3	国立感染症研究所	6名	H24.6.30

終了したプログラム一覧です

	実習・インターンシッププログラム名	日程	予定実施機関	募集人数	応募人数	受講人数
1	動物感染症侵入防止実習プログラム	H24.3.12-3.16	動物検疫所	3	11	5
2	国際獣疫事務局(OIE)実習プログラム	H22.11.28-	国際獣疫事務局(OIE)アジア太	3	4	4

HOME

本事業の目的

実施体制

実施プログラム一覧

教員の皆様へ

学生の皆様へ

プログラムへの参加方法

実習プログラム内容

講義プログラム内容



国立獣医学大学による標準的な
基礎教育プログラムの開発

獣医学教育モデル・
コア・カリキュラムに
関する調査研究
より詳しく

獣医学
共通教科書の
刊行事業計画

ホームページに関する
お問い合わせ先
yuzm@yamaguchi-u.ac.jp
(Q)は受です

Last Update 13/04/19
Since 2001/02/01

● 実習・インターンシッププログラムの内容・日程

動物感染症予防・防疫実習プログラム

実施機関: 動物衛生研究所 [ポスター PDF](#)

募集人数: 5名

実施期間: 2012年8月20日～8月31日

応募締切: 2012年6月30日

参加申込書: [別紙様式「実習・インターンシッププログラム参加申込書」](#)に必要事項を記入し、指導教員の推薦状および前年度の成績表のコピーを添えて申し込んでください。

日程	午前	午後
8.20	オリエンテーション 動物衛生研究所の概要	家畜の飼養衛生管理 採材方法
21	細菌学・寄生虫学① 腸内細菌等	細菌学・寄生虫学② 腸内細菌等
22	細菌学・寄生虫学③ 原虫・寄生虫等	細菌学・寄生虫学④ 豚丹毒等の診断
23	ウイルス学① 鳥ウイルス病の診断	ウイルス学② 鳥ウイルス病の診断
24	ウイルス学③ 豚ウイルス病の診断	ウイルス学④ 豚ウイルス病の診断
27	ウイルス学⑤ 牛ウイルス病の診断	ウイルス学⑥ 牛ウイルス病の診断
28	病理学 病理診断	生化学 生 化学診断
29	プリオン病①	プリオン病②
30	疫学実習	疫学実習
31	疫学実習 (文献等の検索方法)	座談会・個別研修

注意:

実習プログラムの内容については、担当者の都合などにより若干の変更があるかもしれません。

参加条件:

獣医学系の学生4～6年生

事前講義:

講義プログラムの講義No.4, 5および13を事前に受講してください。

馬感染症・臨床実習プログラム

実施機関: [日本中央競馬会 \(JRA\)](#) [ポスターPDF](#)

募集人数: 10名

実施期間: 2012年8月27日～9月8日

応募締切: 2012年6月30日

参加申込書: [別紙様式「実習・インターンシッププログラム参加申込書」](#)に必要事項を記入し、指導教員の推薦状および前年度の成績表のコピーを添えて申し込んでください。

日程	午前	午後
8.27	オリエンテーション 馬のハンドリング	馬の解剖(腹部および筋学)
28	馬の解剖(つづき) (肢端の関節・腱・筋学)	馬の集牧 馬の解剖(つづき)(咽喉頭部) 馬の栄養学(講義)
29	トレッドミル歩行観察 馬の跛行診断 馬のレントゲン撮影・超音波診断	馬の集牧 馬のレントゲン撮影・超音波診断 馬の内視鏡検査
30	馬臨床獣医師の仕事(講義) 厩舎での臨床診断	馬の集牧 馬の全身麻酔
31	馬の装蹄	レポート作成
9.3	オリエンテーション 馬のウイルス感染症(講義)	採材法 馬のウイルス感染症診断
4	馬の細菌感染症(講義) 馬の原虫感染症(講義)	馬の細菌感染症診断
5	オリエンテーション 乗馬訓練	臨床症例・手術見学
6	乗馬訓練	臨床症例・手術見学
7	乗馬訓練	臨床症例・手術見学
8	競馬場開催業務見学	

注意:

実習プログラムの実施場所は、8月27日～31日までJRA競走馬総合研究所、9月3日～4日までJRA競走馬総合研究所栃木支所、9月5日～7日までJRA美浦トレーニングセンターまたはJRA栗東トレーニングセンターとなります。9月8日の競馬場開催業務見学はオプションとなります。

参加条件:

獣医系大学の学生4～6年生

事前講義:

[講義プログラムの講義No.14から19](#)を事前を受講してください。

国際家畜感染症防疫実習プログラム

実施機関: [東京農工大学農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センター](#) ポスター

募集人数: 5名

実施期間: 2012年9月18日～9月21日

応募締切: 2012年7月30日

参加申込書: [別紙様式「実習・インターンシッププログラム参加申込書」](#)に必要事項を記入し、指導教員の推薦状および前年度の成績表のコピーを添えて申し込んでください。

日程	午前	午後
9.18	オリエンテーション 海外協力におけるコミュニケーション能力の開発	病勢鑑定における注意点 (現場での聞き取り、採材、診断)
19	採材時に注意点、農家への対応、 ウイルス分離	抗体検査(蛍光抗体法、寒天ゲル内 沈降反応など)
20	遺伝子診断技術の種類と利用法 (講義)	ウイルスの網羅的検出法
21	感染症発生時の消毒、消毒薬の 分類・特徴・効果・選択、新資材お よびオゾン水(講義)	牛舎の消毒 結果発表・総合討論

参加条件:

獣医系大学の学生4～6年生

事前講義:

[講義プログラムの講義No.4および6](#)を事前に受講してください。

動物用医薬品検定等実習プログラム

実施機関: [農林水産省動物医薬品検査所](#) [ポスターPDF](#)

募集人数: 5名

実施期間: 2012年8月27日～9月7日

応募締切: 2012年6月30日

日程	午前	午後
8.27	オリエンテーション・動薬検の業務概要(講義)	異毒・毒限試験(マウス、モルモット)
28	安全・力価試験(対象動物)	無菌試験
29	ウイルス含有量試験、マーカー試験(発育鶏卵)	生菌数試験
30	力価試験(血清学的試験)(ワクチン又は診断液)	細胞培養(初代細胞培養/株化細胞の継代)
31	ウイルス含有量試験(鶏胚初代培養細胞)	生菌数試験・判定 安全・力価試験(対象動物)
9.3	異毒・毒限試験・判定 ウイルス含有量試験・判定	ウイルス含有量試験、マーカー試験・判定 総合討論
4	薬剤感受性試験の準備(培養等)	薬剤感受性試験の準備(培養等)
5	薬剤感受性試験(Etest、ディスク法、微量液体希釈法)	薬剤感受性試験(Etest、ディスク法、微量液体希釈法)
6	薬剤感受性試験・判定	薬剤耐性菌の性状解析
7	観察・判定	薬剤耐性問題に関する意見交換

参加条件:

獣医系大学の学生4～6年生

事前講義:

[講義プログラムの講義No.10, 11および12](#)を事前に受講してください。

国際獣疫事務局実習プログラム

実施機関:[OIEアジア太平洋地域事務所](#) [ポスターPDF](#)

募集人数:3名

実施期間:2012年10月30日～11月2日

応募締切:2012年9月28日

参加申込書:[別紙様式「実習・インターンシッププログラム参加申込書」](#)に必要事項を記入し、指導教員の推薦状および前年度の成績表のコピーを添えて申し込んでください。

日程	午前	午後
10.30	国際会議の準備(資料作成、会場設定、発表者との打合せなど)	
31	OIE食品安全に関するフォーカルポイント会議参加①(プレゼンテーション聴講)	
11.1	OIE食品安全に関するフォーカルポイント会議参加②(グループディスカッションに参加)	
11.2	OIE食品安全に関するフォーカルポイント会議参加③(最終討議を聴講)	

参加条件:

獣医系大学の学生5,6年生で、実用英語検定準1級、TOEFL-iBT85点、またはTOEIC750点相当またはそれ以上の英語力を有していること。

事前講義:

[講義プログラムの講義No.3, 7, 8および9](#)を10月29日に受講してください。

その他:

この実習プログラムは、動物衛生に関する国際機関の役割について学ぶとともに、国際機関の主催する会議に実際に参加し、会議運営、会議での意見交換、会議参加者との交流を体験していただくことを目的としています。実習後はレポート提出していただきます。

人獣共通感染症・食品由来感染症実習プログラム

実施機関: [国立感染症研究所](#)

募集人数: 6名

実施期間: 2012年8月27日～9月3日

応募締切: 2012年6月30日

参加申込書: [別紙様式「実習・インターンシッププログラム参加申込書」](#)に必要事項を記入し、指導教員の推薦状および前年度の成績表のコピーを添えて申し込んでください。

日程	午前	午後
8.27	オリエンテーション 研究所概要紹介 バイオセーフティ講習	動物由来感染症の検査(細菌①)
28	動物由来感染症の検査(細菌①)	動物由来感染症の検査(細菌①)
29	動物由来感染症の検査(ウイルス)	動物由来感染症の検査(ウイルス)
30	動物由来感染症の検査(ウイルス)	動物由来感染症の検査(細菌②)
31	動物由来感染症の検査(細菌②)	実験室実習まとめ
9.3	動物由来感染症・食品由来感染症の公衆衛生行政	動物由来感染症・食品由来感染症の対策

※注意:

実習プログラムの実施場所は、8月27日～31日まで国立感染症研究所、9月3日午前は厚生労働本省、9月3日午後は横浜検疫所輸入食品検査センターとなります。また、8月27日午後～31日午前までの実習は2つのグループに分かれて実施しますので、グループによっては実習日程が前後します。

参加条件:

獣医系大学の学生4～6年生

HOME

本事業の目的

実施体制

実施プログラム一覧

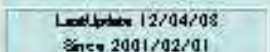
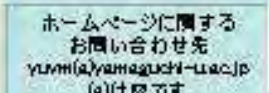
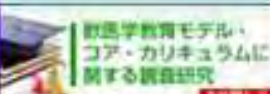
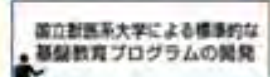
教員の皆様へ

学生の皆様へ

・プログラムへの参加方法・

実習プログラム内容

講義プログラム内容



● 講義プログラム

実習プログラムへの参加にあたり、次の講義のうち全部または一部を受けてください。どの講義を受ける必要があるかは、各実習プログラムの「事前講義」の欄を参照してください。講義はeラーニングによっても受講可能なものもあります。

	講義テーマ	内容	日時	場所	講師
1	動物福祉	動物福祉概説(定義、歴史、評価方法、日本の法律)	ビデオ講義 ▶ START	東京大学農学部フードサイエンス棟1階講義室	杉浦勝明
2		動物福祉に関する国際情勢および国際基準(EU、米国の情勢、OIEの活動・基準)	H23.11.28 8:40-10:20 終了	同上	石橋朋子
3	関係法規と行政組織	関係国際機関(OIE、FAO、WHO)の役割	H23.11.28 10:30-12:00 終了	東京大学農学部フードサイエンス棟1階講義室	下平乙夫
4		家畜衛生行政と家畜伝染病予防法	H24.3.9 13:00-14:30 ビデオ講義 ▶ START	同上	杉浦勝明
5		動物検疫のしくみ	H24.3.9 14:40-16:10 ビデオ講義 ▶ START	同上	酒井一彰
6		特定家畜伝染病防疫指針	H24.8.13 14:40-16:10	同上	伏見啓二
7		わが国の食品安全制度(生産段階における食品安全確保を中心に)	H23.11.28 13:00-14:30	同上	未定
8		食品安全に関するOIE基準	H23.11.28 14:40-16:10	同上	石橋朋子
9		コーデックスの食品安全基準	H23.11.28 16:20-17:50	同上	未定
10		動物薬事行政と関連法規	未定	同上	未定
11		ワクチンの基礎知識	未定	東京大学農学部フードサイエンス棟1階講義室	未定

	12	動物衛生	薬剤耐性菌の課題と対応	未定	同上	未定
	13		主な家畜の感染症	H24.8.13 13:00-14:30	同上	明石博臣
	14	馬臨床学	馬の構造特性	H24.8.20 10:40-12:10	東京大学農学部フードサイエンス棟1階講義室	桑野睦敏
	15		馬の臨床学総論と競馬におけるドーピング	H24.8.20 13:00-14:30	同上	上野儀治
	16		馬の運動器疾患	H24.8.20 14:40-16:10	同上	笠嶋快周
	17		馬の循環器・呼吸器疾患	H24.8.21 10:40-12:10	同上	大村 一
	18		馬の消化器・眼科疾患	H24.8.21 13:00-14:30	同上	和田信也
	19		臨床繁殖学・産科学	H24.8.21 14:40-16:10	同上	南保泰雄

HOME

本事業の目的

実施体制

実施プログラム一覧

教員の皆様へ

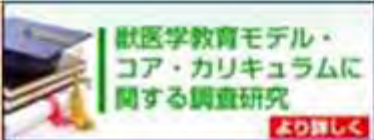
学生の皆様へ
-プログラムへの参加方法-

実習プログラム内容

講義プログラム内容



国立獣医系大学による標準的な
基礎教育プログラムの開発



獣医学
共通教科書の
刊行事業計画

ホームページに関する
お問い合わせ先
vum(a)yamaguchi-u.ac.jp

● 参加学生の声



東京大学6年、国際獣疫事務局(OIE)実習プログラム(2011年11月28日~12月2日)に参加

学生の身分でありながら国際機関主催の国際会議に実際に参加し、本当に貴重な体験をしました。



麻布大学4年、国際獣疫事務局(OIE)実習プログラム(2011年11月28日~12月2日)参加

一週間大学の授業を休講して参加しましたが、それだけの価値が十分にありました。



東京農工大学5年、国際獣疫事務局(OIE)実習プログラム(2011年11月28日~12月2日)参加

Animal welfareは学生にとっては難しいテーマでもあると思いますが、各国の状況や国ごとの考え方の違いなども理解することができ

実習システムの現状

- 高度外部協力機関の専門分野に合わせた高度で実践的な実習プログラムを実現。
- 事前講義プログラムの実施により、実習プログラムを実習に特化させ、実習の効果を上げる。
- 事前講義を教材とすることにより、全国の大学で共有できる教材を蓄積。
- 一斉に公表・募集することにより、学生による選択をしやすくする。
- できる限り夏季休暇または春季休暇中に開催することにより参加の便宜を図る。

実習システムの今後

- 各実習プログラムの受入人数の増大。
- 新たな高度外部専門機関の開拓。
- 大学のほか、関係省庁の要望の把握。
- 各大学で手薄な関連講義科目について、教材を提供したり、講師を仲介・派遣できるシステムを開発。